

平成27年度学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 名称：東京都立青山高等学校 学校運営連絡協議会

(2) 事務局の構成 主任教諭（広報部主任）＝事務局長、副校長、経営企画室長 計3名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務部主任・副主任、生徒部主任、進路部主任、広報部主任、1学年・2学年主任・3学年主任）・保健厚生部主任 計12名

(4) 協議委員の構成

保護者代表2名、同窓会代表1名、後援会代表1名、大学教員、近隣中学校長、塾関係者、地域有識者（3名） 計10名

2 平成27年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）

第1回 平成27年6月13日（土） 出席者 内部委員12名、協議委員9名

- ・授業見学、委員紹介、学校経営報告及び学校経営計画の説明、本校の教育活動の説明
- ・進学指導重点校としての教育活動に関する説明
- ・学校運営連絡協議会実施報告及び学校運営連絡協議会の趣旨説明
- ・評価委員選出、質疑応答及び意見交換

第2回 平成27年11月28日（土） 出席者 内部委員11名、協議委員9名

- ・授業見学、学校の教育活動の近況についての説明
- ・学校評価アンケート試案の検討（全体構成、改善点、設問の検討）
- ・質疑応答及び意見交換

第3回 平成28年2月6日（土） 出席者 内部委員11名、協議委員7名

- ・授業見学、学校の教育活動の近況についての説明
- ・学校評価アンケート集計結果の報告
- ・集計結果を踏まえた協議（分析と考察）、意見交換

(2) 評価委員会

第1回 平成27年10月30日（金）～11月24日（火）

内部委員2名、協議委員2名が、学校評価の基本方針の確認、学校評価の観点・項目、内容の検討

第2回 平成28年1月25日（月）～2月4日（木）

内部委員2名、協議委員2名が、学校評価アンケート集計結果の分析・考察、意見交換

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 評価の観点

- ①生徒：自分自身の学校生活と家庭生活、本校の教育活動についてどのようにとらえているかを評価する。
- ②保護者：子どもの学校生活と家庭生活、本校の教育活動についてどのようにとらえているかを評価する。
- ③教職員：進学指導重点校としての本校の教育活動についての成果を評価する。

(2) アンケート調査の実施時期、対象、規模

- ・実施時期：平成27年12月～平成28年1月
- ・対象・規模：生徒（895人）、保護者（895人）、本校教職員（59人）
- ・回収率：生徒95.9%（858人）、保護者54.4%（487人）、本校教職員100%（59人）

(3) 主な評価項目

・学校運営 ・学習指導 ・進路指導 ・生活指導

(4) 評価結果の概要

今年度の学校評価結果を表1に示す。

表1 平成27年度学校評価結果

項 目		平成27年度			
		生徒	保護者	教職員	
1	青山高校を選択する際に、次の項目をどの程度考慮したか、該当する番号をマークしてください。	進路実績	A	A	A
2		教育課程(勉強の内容や時間割など)	B	B	A
3		進学指導	A	B	A
4		外苑祭等の行事	B	B	A
5		部活動	C	B	A
6		交通の便	B	A	A
7		生徒の様子	A	A	A
8		学校の周囲の環境	B	B	B
9		自由な雰囲気	A	A	A
10	学校生活全体に充実感や満足感を感じていますか。	A	—	A	
11	本校の学習指導について満足していますか。	A	A	A	
12	各教科・科目の年間の授業計画について理解していますか。	B	C	B	
13	予習・復習や宿題・課題提出のための学習時間は十分だと思いますか。	A	B	B	
14	本校の進路指導について満足していますか。	A	A	A	
15	本校の読書活動について満足していますか。	—	C	C	
16	学期中の補習(平日及び土曜日の放課後の補習)に満足していますか。	—	B	A	
17	夏季休業日中の補習に満足していますか。	—	B	A	
18	夏休み中の学習時間は十分だと思いますか。	B	B	B	
19	生徒にとって平日の自習室の利用は十分だと思いますか。	—	B	A	
20	生徒にとって夏季休業日中の自習室の利用は十分だと思いますか。	—	B	A	
21	あいさつなど、基本的な生活習慣への指導に満足していますか。	A	A	B	
22	学校は、体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいると思いますか。	B	B	A	
23	進学指導重点校としてふさわしい教育課程(時間割)になっていると思いますか。	A	A	A	
24	土曜日授業は学習や教育活動の充実に役立っていると思いますか。	B	A	A	
25	「生徒による授業評価」は授業改善に役立っていると思いますか。	C	—	B	
26	自習室は学習活動の充実に役立っていると思いますか。	A	A	A	
27	現在の生徒の頭髪や服装の在り方について、どのように思いますか。	A	A	A	
28	本校の体育祭に満足していますか。	A	A	A	
29	本校の外苑祭に満足していますか。	A	A	A	
30	学習と部活動・学校行事(体育祭や外苑祭)の切り替えができていますか。	A	A	A	
31	心身上の悩みについて、保健室やスクールカウンセラーなど相談しやすい環境が整っていると思いますか。	B	B	A	
32	あなたは清掃をよくしていますか。	A	B	B	
33	校外から持ち込んでゴミになったものは、自宅に持ち帰っていますか。	A	A	A	
34	次の項目は、進路指導としてどの程度役に立つと思いますか。	進路ガイダンス	A	A	A
35		面談	A	A	A
36		補習・講習	A	A	A
37		学力テスト・外部模試	A	A	A
38		サテライトビデオ講習(8月)	B	C	B
39		大学模擬講義(12月)	A	B	A
40		特別講演会	B	B	A
41	2学期特別講座(3年生)	A	B	A	
42	進路の悩みについて、先生から適切なアドバイスが期待できると思いますか。	A	A	A	
43	青山高校に入学してよかったと思いますか。	A	A	A	

表1は、「そう思う」、「ややそう思う」の合計が75%以上をA、50%以上をB、25%以上をC、25%未満をDとして、各項目を評価した結果である。

表1から、生徒、保護者、教職員ともにAまたはBの評価結果が多く、全体としては高い評価であることが分かる。特に、生徒及び教職員の評価ではCの項目がそれぞれ1つしかない。一方、保護者では、Cが3項目あるが、全体としては高い評価結果であった。

(5) 評価結果の分析・考察

学校評価より明らかになった課題について、今後の取り組みをまとめる。

平成27年度の学校評価の回収率は、生徒95.9%、保護者54.4%、教職員100%であった。教職員は3年連続で100%の回収率であり、今後もこの数値を継続維持していく。保護者の回収率60%以上をめざしたが、結果は昨年度より0.1ポイント数値が下回った。評価として有効な資料とするためには最低でも6割以上の回収率が必要だと考えるので、引き続き回収率の向上に努めていく。

数ある都立高校中から青山高校を選択する際に考慮した項目については、「進学実績」をはじめとして9項目中7項目について、全回答者が60%以上考慮したと回答されている。しかし、教育課程及び部活動について生徒の回答が60%を下回った。昨年度までには見られない傾向である。また、生徒・保護者・教職員間では数値に差があり、特に「行事」、「部活動」については教職員が考える程、生徒・保護者は考慮していないことが分かる。また、青山高校を選択したその他の理由の中では、「学校説明会での雰囲気」の記述が目立った。説明会の内容や当日の生徒の様子に好意的な評価を得たことは大きな結果と受け止めている。今後も広報部を中心として学校説明会の内容を充実すると共に、日頃から好感がもたれる生徒を育てていく。

昨年度より保護者の回答には「分からない」の選択肢を加えて実施している。その結果、昨年度と同様に「読書活動」、「体罰に対する取組」、「教育相談」、「サテライトビデオ学習」、「特別講座」は分からないとの回答が多い結果となった。昨年度とは評価結果が微妙に変化している。これらの項目のうち、サテライトビデオ学習と特別講座は3学年だけが対象のため、1・2年生の保護者が分からないのは当然であるが、全学年が対象のものについては、その取組状況を保護者へ周知する工夫が必要である。

各質問項目をAからDの記号で評価した結果を昨年度と比較すると、大きくは変わらないが、次の4つの部分で評価が上がっている。①教科・科目の年間授業計画に関する教職員の回答B(昨年度C)、②読書活動に関する教職員の回答C(昨年度D)、③夏休み中の学習時間に関する教職員の回答B(昨年度C)。基本的な生活習慣に関する教職員の回答B(昨年度C)。4つとも教職員の回答であるので、現状に満足せずに課題を明らかにして今後も改善に取り組んでいく。次に各項目を数値によって評価した結果を昨年度と比較すると、項目により多少の数値の増減はあるものの、各項目の合計値は14629.96(昨年度14444.99)と微増である。しかし、生徒は4579.08(昨年度4792.43)、保護者は4990.60(昨年度5062.208)と数値は減少している。生徒並びに保護者からの評価を向上させる取組に今後も取り組んでいく。生徒・保護者・教職員それぞれのグラフを比較すると、生徒・保護者ともに概ね肯定的な評価が多いことが分かる一方、課題が明確に現れている。「生徒による授業評価」、「各教科・科目の年間授業計画の理解」、「読書活動」については3者とも課題と考えている。これらの項目についてはさらなる改善を行っていく。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・改善すべき課題の整理と改善策の検討
- ・地域や保護者への教育活動に関する発信及び理解
- ・本校を志望する理由の変化

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかになった課題

- ・年間授業計画の早期完成及び保護者への配布
- ・生徒による授業評価を活用した授業改善
- ・ビブリオバトル等を通じた読書活動の充実

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

今回の評価結果を受け次年度の対応をまとめる。

(1) 年間の授業計画については、昨年度の反省を踏まえ今年度は生徒・保護者に6月に周知した。

その結果、僅かではあるが評価は改善されたものの、数値は低い状況である。次年度はさらに早期に配布するとともに、保護者に確実に届くように保護者会等において積極的に情報を発信していく。また、引き続きホームページから分かりやすく閲覧できるように工夫していく。

- (2) 予習・復習や宿題・課題提出のための学習時間については評価が低い状況である。その原因は、本人のやる気に問題があるとの回答が多いが、部活動との回答も目立つ。部活動については、下校時刻を厳守するとともに自習室の活用を促していく。また、時間を計画的に活用するように青山手帳の活用も促していく。また、特定の教科の課題が多いとの回答もある。当該教科にはこの結果を示し、対応を協議していく。また、夏休みの学習時間について保護者の評価が低い。理由としては部活動や外苑祭練習が今年度も目立った。3 兎を追うことが青高生の目標である。集中と切り替えが効果的に行えるように集会やホームルーム活動を通して日頃から指導をしていく。
- (3) 読書活動については評価が低い。本校では夏季休業中を読書月間と指定するとともに、図書委員会が毎学期図書館新聞を発行し、読書習慣を促している。さらに、図書館司書による図書館便りが年間 9 回発行されていて、新着図書等の情報を積極的に提供している。また、6 月には図書委員会が主催する校内ビブリオバトルが開催され、今年度は全国大会にも出場し高い評価も得ている。今後は、このような図書委員会の活動を充実させるとともに、読書活動への取組と学校からの発行物をホームページに公開し、保護者も閲覧できるように工夫していく。
- (4) 挨拶については教職員の評価が大きく改善された。学校説明会等で外部からの来校者からも挨拶に対して評価されている。挨拶の励行については、生徒の自由意見にも積極的にを行う重要性の記載がある。年々、校内での挨拶は頻繁に行われるようになりつつあるが、廊下等で無反応で通り過ぎる教職員や生徒がいることも事実であり、学年による差もある。引き続き教職員が率先垂範する。
- (5) 生徒による授業評価については、3 年連続して評価が低い。授業評価については結果を迅速に集計し、生徒へのフィードバックについても各教員が行っている。さらに昨年度からは、各教科の評価結果を生徒へ知らせるようにし、生徒もこの結果に反応を示している。次年度もこの取り組み継続しつつ改善点を精査していく。
- (6) 教育相談に関する評価も低い。本校では養護教諭とスクールカウンセラーが連携して教育相談を実施している。年度初めに相談日を生徒・保護者に連絡し、予約制で展開している。また、4 月にはスクールカウンセラーによる新入生全員の面接も行い、相談しやすい関係を構築している。本校の教育相談を利用している生徒や保護者は現状をよく理解していると考えますが、利用していない生徒や保護者は具体的な相談体制が分からないと思われる。今後も、保護者や生徒にとって教育相談が必要な時に迅速に対応ができるように情報を積極的に提供していく。
- (7) 清掃活動については、保護者及び教職員の評価が低い。廊下や階段等での綿埃や泥の粉末状の汚れが絶えない状況である。生徒や保護者の自由記述には、校内清掃の必要生を述べているものが多い。校舎の構造上の問題はあるが、本校独自のゴミ捨てルールを徹底すると共に、保健厚生部を中心に清掃回数を増やすなどの改善策を協議していく。
- (8) サテライトビデオ学習については特に保護者からの評価が低い。今年度は3 年生を対象に地学の講座を開講した。受講者が 10 人前後であり、講座の存在を知っている保護者は3 年生の極限られた範囲でしかない。今年度のセンター試験地学基礎において良い結果が出ているので、2 年生の進路選択の際に丁寧に説明するとともに、保護者にも情報を提供していく。
- (9) 今年度自由記述では、空調とトイレに関するものが特に目立った。空調については、現在、経営企画室が施設の改善要望を教育委員会に提出している。施設改善には時間がかかるが、教職員と経営企画室が連携して適切な温度環境を維持していく。また、トイレについては匂いがきつい、汚いとの意見が数多くあった。業者によるトイレ清掃は改善されたので、生徒にトイレ使用のマナーについての指導を行うと共に設備についても適切に管理をしていく。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

- (1) 協議委員人数 9 人 回答者 9 名
 (2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
7	2	0	0	0	0	0

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0 回、企画調整会議 0 回

【成果】 参加実績がないため、特になし

追記 平成 27 年 11 月 16 日 岩間辰志協議委員が逝去されました。長年に渡り、委員会にご尽力いただきありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。